



OEKO-TEX® ORGANIC COTTON: 2026 新規制について

OEKO-TEX® (エコテックス®) 国際共同体は例年同様、2026 年より各認証及びレベルに適用する試験基準、規制値、要求事項を更新しました。規制値の変更点につきましては、各認証に対応した規制値表にてご確認ください。OEKO-TEX® ORGANIC COTTON (エコテックス®オーガニックコットン) に関する以下の新規制は、3 か月の移行期間を経て、2026 年 6 月 1 日から適用されます。

「GMO 不検出」の表記について

慎重な検討の結果ならびに透明性および品質への取り組み方針に基づき、オーガニックコットン認証における綿製品については、今後「GMO 不検出 (GMO not detectable)」という表記を使用しないこととします。これは、GMO の混入が最大 4.9%まで許容されており、「不検出」という表現が厳密には正確ではないためです。

湿式工程に関する認証要件について

OEKO-TEX® ORGANIC COTTON 認証における品質保証をさらに強化するため、未認証の湿式工程 (例：染色、洗浄、プリント、仕上げ加工) は、初回認証の場合に限り認められます。一方、認証更新においては、サプライチェーン内のすべての湿式工程が認証を取得していることが必須となります。すべての証明書には移行期間が設けられており、2027 年 6 月までは未認証の湿式工程も引き続き認められます。この移行期間により、企業が工程および認証状況を整備するための十分な時間が確保されます。

この変更により：

- **【初回認証の場合】**
未認証の湿式工程は認められます。企業が初めて認証を申請する場合、未認証の湿式工程 (例：染色、洗浄、プリント、仕上げ加工) を行っているサプライヤーや外注先を使用することが可能であり、初回認証の段階ではこれらの工程も受け入れられます。
- **【認証更新の場合】**
すべての湿式工程が認証取得する必要があります。認証更新時には要件がより厳格となり、サプライチェーン全体におけるすべての湿式工程が認証を取得していなければなりません。未認証の湿式工程は、認証更新においては一切認められません。

OEKO-TEX® ORGANIC COTTON 認証における高度なデジタルトレーサビリティ

OEKO-TEX®は、TextileGenesis と協力し、OEKO-TEX® ORGANIC COTTON におけるデジタルトレーサビリティを強化しています。新しいシステムでは、紙ベースの取引証明書に代わり、安全なデジタル・チェーン・オブ・カストディ (管理・追跡の仕組み) を導入し、透明性を高めるとともに、不



正のリスクを低減 2026.03.03 減します。これにより、OEKO-TEX®認証はサプライチェーン全体においてより信頼性が高く、管理しやすいものとなります。

規格書とは別提供となる規制物質リスト (RSL)

2026 年より、規制物質リスト (RSL) は規格書本体には含まれなくなります。今後は、視認性の向上、比較のしやすさ、ならびに要件のより明確な理解を目的として、別途 Excel ファイルとして提供されます。

リスクパラメータとなる試験項目での検出結果について

定義：

リスクパラメータとは、EU において法的に規制されている物質、または OEKO-TEX® ORGANIC COTTON において特に重要な意味を持つことを基準として選定された物質の試験項目です。

現行プロセス：

認証プロセスにおいてリスクパラメータが検出された場合、顧客は OEKO-TEX®基準に適合する改良サンプルを提出する必要があります。あわせて、どのような変更を行ったのか、またその変更によってどのようにサンプルが改善されたのかを説明する改善報告書の提出も求められます。

変更点：

2026 年 6 月以降は、リスクパラメータが試験で検出された場合、証明書の有効期間内に、試験機関による 2 回目の試験シリーズが実施されることとなります。

OEKO-TEX®新規制の詳細については、OEKO-TEX®(info@oekotex.com)または最寄りの OEKO-TEX®認証機関(<https://www.oeko-tex.com/offices>)にお問い合わせください。



ORGANIC
COTTON

3 か月の移行期間を経て、2026 年 6 月 1 日から、OEKO-TEX® ORGANIC COTTON の新試験基準と規制値がすべての認証に対して拘束力を持ちます。